

してまとめる・発表する・他者との意見の違いを知る」ことに活用。まとめる、共有する活動のためにはキーボード付きが良いと話す。

無線式のキーボードも検討したが、ネットワークに負荷がかかると考え、やめた。

動画、小テスト

反転授業

普通授業では、Web 上で小テストや反転授業を行う。小テストは Classi を使って問題を作成、成績集計もできる。Google フォームでも簡単なテスト作成はできるが、アンケート機能の派生形のため問題形式が限られる。反転授業は Classi の学習動画を配信して予習を促す。英語では、スピーチ課題を自撮りして課題を提出、授業では生徒同士で撮影し合って相互評価を実施、物理では、動画を視聴しながらノートをまとめ、自分の理解に応じて動画を視聴していくという授業を実施。

今後、数学では、自分の解き方の説明を動画で撮

影、生徒同士で見合って確認するという活動を想定している。

放課後、 家庭学習まで含める

「授業のみではなく、朝から放課後、家庭学習までトータルで考えた活用を模索すること、大学入試改革を念頭にポートフォリオとして ICT 活用を模索することがポイント。授業設計を念入りにしながら振り返って改善していくことも重要である」と語った。

同校は、本年 10 月 27・28 日に実施される放送教育研究会全国大会・視聴覚教育総合全国大会の会場の 1 つ。

当日は 1 人 1 台環境を活用した授業が公開される予定だ。

(東北学院中学校・高等学校・新田晴之教諭。平成 29 年 7 月 28 日講演)

●東北学院中学校・高等学校における Chromebook の導入

平成 28 年度中学校・高校入学生より学年進行により導入。生徒が学校指定の Chromebook を購入。平成 30 年度導入が完成する。平成 28 年 8 月 25 日より使用を開始。

●教室内情報環境 電子黒板機能付きプロジェクターのすべての普通教室への設置が進められている。中学は設置完了、高校は平成 30 年度設置完了予定。無線 LAN は、普通教室は平成 28 年度中学校・高校入学生より学年進行で設置。特別教室は平成 31 年度設置完了予定。